

平成 26 年全国消費実態調査結果

大阪府総務部統計課 物価・家計グループ

《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。 <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/zensho26/index.html> 》

全国消費実態調査は、国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査するもので、昭和 34 年の第 1 回調査以来、5 年ごとに実施されています。

国が取りまとめた平成 26 年調査（平成 26 年 9 月から 11 月にかけて実施）の結果のうち、大阪府分の一部をご紹介します。

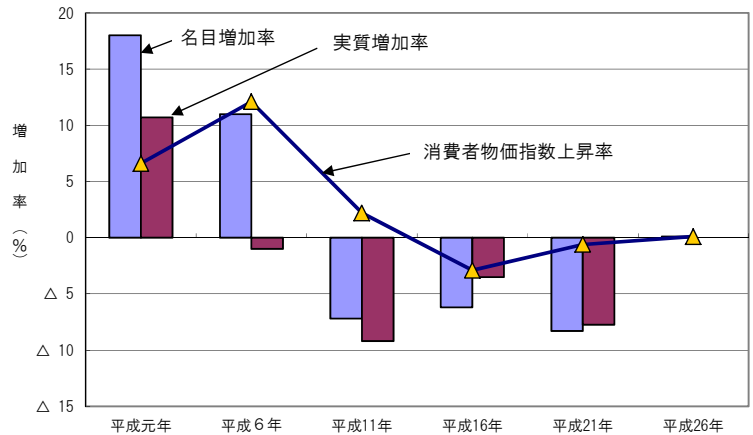
1 1 か月平均消費支出

(1) 消費支出の推移

二人以上の世帯の平成 26 年 9 月から 11 月の 1 か月平均（以下「1 か月平均」という。）消費支出は 1 世帯当たり、27 万 8,161 円となりました。5 年前（平成 21 年）と比較すると名目増加率は 0.1%増加し、消費者物価指数の変動を考慮した実質増加率は 0.0%となりました。

消費支出の増加率の動きを見てみると、平成 11 年以降、名目・実質ともに減少していましたが、平成 26 年は名目がわずかに増加に転じました。（図 1、表 1）

(図 1) 1 か月平均消費支出の対前回増加率の推移 (二人以上の世帯)



(表 1) 1 か月平均消費支出の推移 (二人以上の世帯)

	平成元年	6	11	16	21	26
消費支出(円)	313,497	347,941	323,049	303,030	277,930	278,161
名目増加率(%)	18.0	11.0	-7.2	-6.2	-8.3	0.1
実質増加率(%)	10.7	-1.0	-9.2	-3.5	-7.7	0.0
消費者物価指数上昇率(%)	6.6	12.1	2.2	-2.9	-0.6	0.1

10 大費目別で消費支出の実質増加率を見ると「住居」、「光熱・水道」、「交通・通信」及び交際費などの「その他の消費支出」の 4 費目は減少しましたが、残りの 6 費目は全て増加しました。

特に「家具・家事用品」が大きく増加しました。（表 2）

(表 2) 10大費目別対前回増加率 (二人以上の世帯)

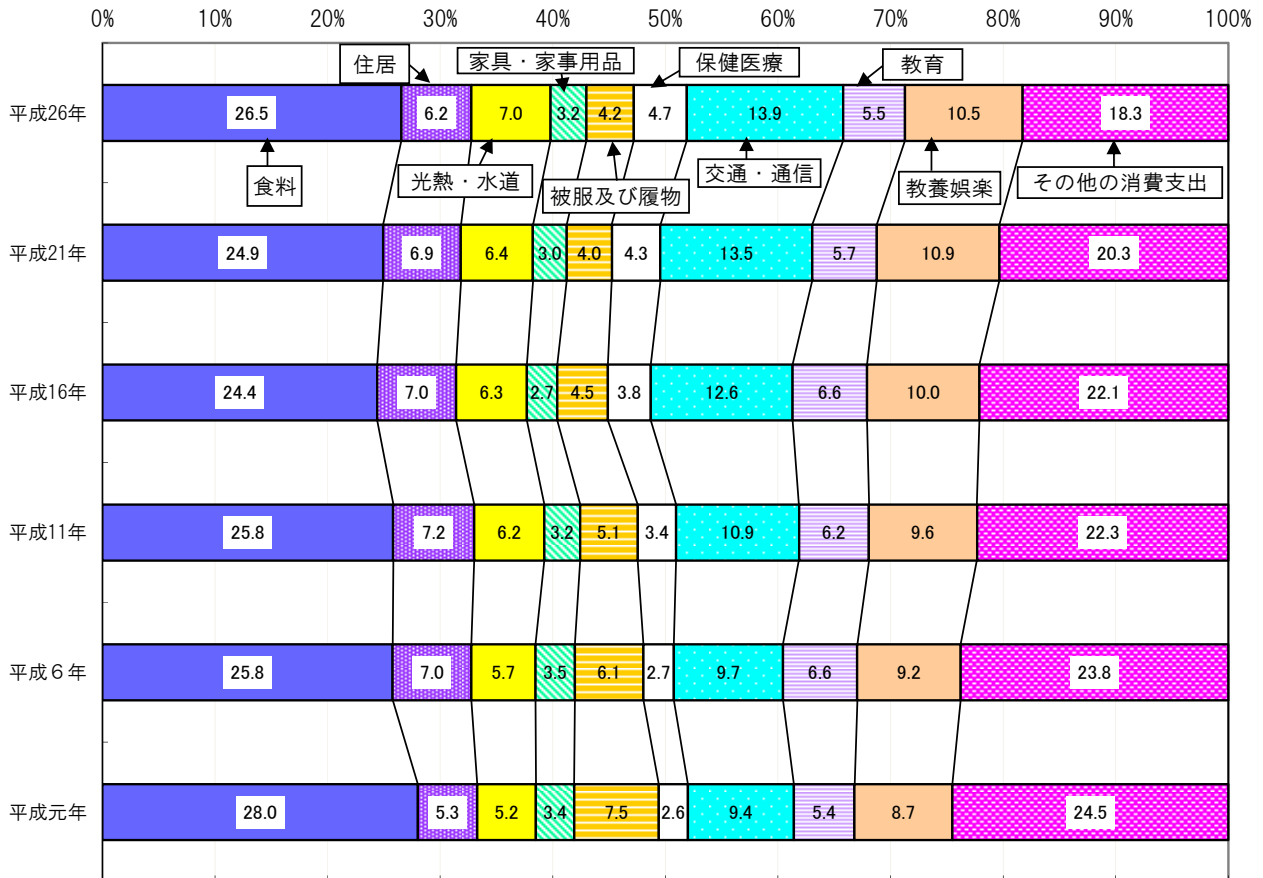
費目	名目増加率 (%)	実質増加率 (%)
食料	6.9	4.9
住居	-9.7	-3.9
光熱・水道	9.3	-7.1
家具・家事用品	6.9	31.8
被服及び履物	4.2	4.7
保健医療	8.6	10.5
交通・通信	2.9	-0.7
教育	-3.8	2.1
教養娯楽	-4.0	1.4
その他の消費支出	-10.1	-10.2

(2) 消費支出の費目構成

二人以上の世帯の1か月平均消費支出の10大費目構成を見ると、「食料」（消費支出に占める割合(=エンゲル係数)26.5%)、「その他の消費支出」(同18.3%)、「交通・通信」(同13.9%)、「教養娯楽」(同10.5%)が上位を占めています。

平成元年以降の費目構成の推移を見ていくと、平成16年までは「食料」の占める割合が縮小していましたが、それ以降、増加に転じました。一方、「光熱・水道」、「保健医療」、「交通・通信」は一貫して構成比が増加しています。(図2)

(図2) 1か月平均消費支出の費目構成の推移(二人以上の世帯)

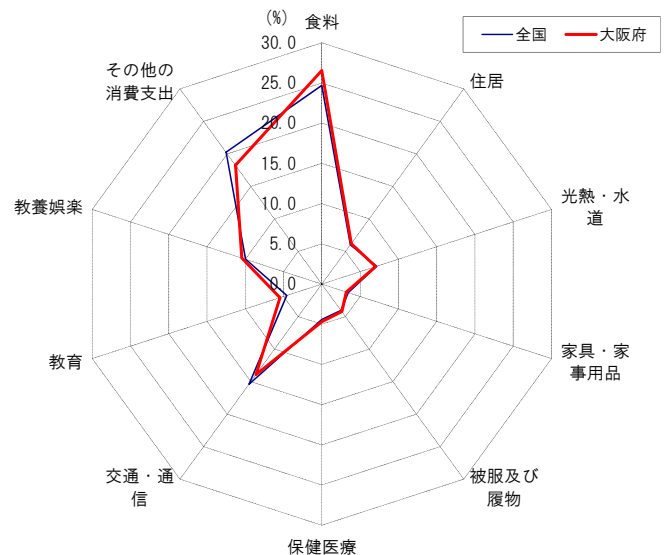


(3) 全国との比較

消費支出に占める費目別割合の面から、大阪府と全国を比較すると、「食料」の消費支出に占める割合(26.5%)が全国平均(24.7%)を上回っており、これは全国1位の高さです。

以下、「教育」(6位)、「教養娯楽」(8位)などが全国と比較して高い割合になっています。逆に「その他の消費支出」の占める割合(18.3%)は全国(20.3%)と比較して低く、順位も46位です。(図3)

(図3) 1か月平均消費支出に占める費目割合の大阪府と全国の比較(二人以上の世帯)



2 主要耐久消費財の所有数量と普及率

(1) 主要耐久消費財の所有数量と普及率

二人以上の世帯について、平成26年10月末日現在の1,000世帯当たり所有数量（以下「所有数量」という。）を見ると、ルームエアコン（3,097台）が最も多く、次いで、たんす（2,786台）、テレビ（2,131台）などの品目が続いています。（表3）

普及率（当該耐久消費財を所有している世帯の割合、以下「普及率」という。）を見ると、冷蔵庫（98.6%）が最も高く、次いで、洗濯機（98.5%）、テレビ（98.3%）などの品目が続いています。（表4）

（表3） 1,000世帯当たり主要耐久消費財の所有数量が多い、所有数量の増加率が高い上位5品目（二人以上の世帯）

	品目名	平成21年 所有数量(台)	平成26年 所有数量(台)	所有数量 対前回増加率(%)
所有数量が多い耐久消費財	ルームエアコン	2,822	3,097	9.7
	たんす（作り付けを除く） 1)	3,964	2,786	-29.7
	テレビ 2)	2,113	2,131	0.9
	床暖房 3)4)	-	1,552	-
	電気掃除機	1,332	1,436	7.8
所有数量の増加率が高い耐久消費財	ピアノ・電子ピアノ 5)	210	279	32.9
	空気清浄機	455	580	27.5
	サイドボード・リビングボード	457	574	25.6
	食器洗い機	298	369	23.8
	ベッド・ソファベッド （作り付けを除く）	1,040	1,244	19.6

（表4） 主要耐久消費財の普及率が高い、普及率の上昇幅が大きい上位5品目（二人以上の世帯）

	品目名	平成21年 普及率(%)	平成26年 普及率(%)	普及率 対前回増加率(%)
普及率が高い耐久消費財	冷蔵庫	98.6	98.6	0.0
	洗濯機	99.4	98.5	-0.9
	テレビ	-	98.3	-
	電気掃除機	99.0	98.1	-0.9
	電子レンジ （電子オーブンレンジを含む）	97.2	97.8	0.6
普及率の上昇幅が大きい耐久消費財	ピアノ・電子ピアノ	20.7	26.1	26.1
	食器洗い機	29.6	36.8	24.3
	サイドボード・リビングボード	38.0	45.1	18.7
	空気清浄機	37.0	43.6	17.8
	I Hクッキングヒーター 6)	16.7	19.1	14.4

- 平成21年調査では調査品目に「たんす（作り付けを除く）」がなかったため、「和だんす（作り付けを除く）」、「洋服だんす（作り付けを除く）」、「整理だんす（作り付けを除く）」を合算したものと比較している。
- 平成21年調査では調査品目に「テレビ」がなかったため、「薄型テレビ（プラズマ 液晶 有機ELを含む）」、「カラーテレビ（ブラウン管）」を合算したものと比較している。
- 「床暖房」の所有数量は、量数単位。
- 「床暖房」は、持ち家で平成元年以降に取得したものに限定して調査を行っている。
- 「ピアノ・電子ピアノ」は、平成21年は「ピアノ」を集計している。
- 「I Hクッキングヒーター」は、平成26年調査では、持ち家で平成元年以降に取得したものに限定して調査を行っている。

(2) 前回調査との比較

二人以上の世帯 1,000 世帯当たりの所有数量を、5 年前（平成 21 年）と比較すると、ピアノ・電子ピアノ（対前回増加率 32.9%）、空気清浄機（同 27.5%）、サイドボード・リビングボード（同 25.6%）の順で増加率が高くなっています。（左記表 3）

また、普及率では、ピアノ・電子ピアノ（対前回増加率 26.1%）、食器洗い機（同 24.3%）、サイドボード・リビングボード（同 18.7%）の順で上昇幅が大きくなっています。（左記表 4）

(3) 全国との比較

主要耐久消費財の所有状況について、大阪府と全国を比較すると、電動アシスト自転車（所有数量 1 位）、床暖房（同 8 位）、ルームエアコン（同 14 位）等の品目で、所有数量、普及率とも全国を大きく上回りました。

一方、ベッド・ソファベッド（同 44 位）、自動車（同 46 位）等の品目で、所有数量、普及率とも全国を大きく下回りました。（図 4）

(図 4) 1,000 世帯当たり主要耐久消費財の所有数量、普及率（二人以上の世帯）

